

日仏文化的景観保全国際交流シンポジウム（通訳あり） 「災害と風景，営みの継承」

日時：2018.5.26（土）13:30-16:30（受付13:00）

場所：阿蘇草原保全活動センター（多目的会議室）

〒869-2307 熊本県阿蘇市小里656

主催：熊本大学熊本創生推進機構 共催：風景デザイン研究会

後援：阿蘇世界文化遺産登録推進協議会，阿蘇郡市世界文化遺産登録事業推進協議会

参加無料
座席数60

これまで草地の保全に取り組んできた阿蘇地域7市町村の草原景観が，平成29年10月に国の重要文化的景観に選定されました。文化的景観とは自然環境，歴史，生活・生業の面から，地域らしい固有な風景を価値づけ，それらを保全・継承していくための仕組みです。しかし阿蘇地域は，平成28年の熊本地震により，いまなお復興の真ただ中にあります。今回のシンポジウムは，地域住民や自治体職員の皆様，「景観」「文化財」「防災」とは関係ない，と思っておられる方々の参加をお待ちしております。なお本シンポジウムは，JSPS・CNRSの二国間交流事業共同研究/セミナー事業の一環として開催します。

申込み・問合せ先 代表者のお名前，ご所属，連絡先（電話番号），人数を，5/23（水）までに下記までお知らせください。
田中尚人：熊本大学熊本創生推進機構 准教授 TEL&FAX (096)342-2040 e-mail : naotot@kumamoto-u.ac.jp

プログラム：

第1部 基調講演

題目：「ピレネーにおける災害と風景の再生」

講師：セルジュ=ブリフォー

（フランス国立建築造園高等技術者養成学校ボルドー校 教授）

第2部 パネルディスカッション

テーマ：「災害からの復興と文化的景観の役割」

登壇者：セルジュ=ブリフォー（前掲）

シリル=マルラン（フランス国立建築造園高等技術者養成学校ボルドー校 准教授）

鈴木 地平（文化庁文化財部記念物課 文化財調査官）

星野 裕司（熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授）

竹内 裕希子（熊本大学先端科学研究部 准教授）

司会者：田中 尚人（熊本大学熊本創生推進機構 准教授）

